

特定非営利活動法人 静岡市障害者協会

令和2年度事業報告書

I 成果及び課題

A 成果

1	法人経営
(1)	<p>コンプライアンス体制の充実、ガバナンスの強化、財務体質の改善</p> <p>平成29年11月24日付でNPO法人から認定NPO法人に昇格し、3年4か月が経過する中で、「認定NPO」を継続発展させるために、コンプライアンス体制の充実、ガバナンスの強化、財務体質の改善に努めた。特に会員諸氏、諸団体、一般市民の方のご理解ご協力を得て、認定に必要なパブリックサポートテストの水準（相対的評価）をほぼ満たすことができた。具体的には、令和2年度は85件、1,765千円の寄付を頂戴し、自主財源を確保することが出来た。なお、静岡市所管のNPO法人は333法人（令和3年3月末）で、うち認定NPO法人は13法人、全体の3.90%とごく僅かである。</p>
(2)	<p>コロナ禍でも当事者の目線の意見の発信を推進した</p> <p>当協会は、平成17年の任意団体としての発足以来、“Nothing About Us Without Us!”『私たち抜きに私たちのことを決めないで!』のモットーの下に、当事者目線を前提に実践し、様々な活動を展開し、静岡市における中核的な障がい者団体として着実な歩みを重ねた。昨年度から「静岡市共生の街づくり計画」の策定作業が始まり、当事者団体等の意見集約の場として組織された「静岡市共生の街づくり計画」策定懇話会の会長に当協会の牧野会長が就任していたが、今年度は本格的な議論をする段になって、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、集合できなくなった。関係書類の送付で文書回答の形に替わり、集合して意見交換したのは1回だけとなった。パブリックコメントの募集では、当協会が協力に関係団体等に応募を協力に要請したこともあり340件を超えるコメントが集まり、計画への反映も従来よりも多方面にわたるものとなった。ただ、計画の中身については課題が多く、今後の施策推進が重要になる。</p>
(3)	<p>相談支援のSDGsとして「断らない相談と取り残さない支援」を目指した</p> <p>当協会は、静岡市より障害者相談支援推進センターとして基幹相談支援センターや虐待防止センター等の事業を受託している。これらの「相談支援」にかかる事業は、障がいがある児者の生活や人生にとっても重要な役割と責任を担っている。それに取り組む基本的な考えとして「どんな障がいがあっても取り残されない社会の実現」を高く目標に掲げる。これは平成27年9月の国連サミットで採択された国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の基本的な理念となる、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」、「持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」に賛同することを意味する。平成31年度末に静岡市の呼びかけに呼応し、法人として「SDGs宣言」を提出したので、今年度は自主的な事業はもちろん委託事業までその理念の実現のため、「誰一人として取り残さない社会」を目指し、「断らない相談」と「取り残さない支援」を掲げたところ、突然、襲ってきた新型コロナ禍において、行政の危機対応の遅さ、地域の絆の弱さ、社会の脆弱性が露呈した。その後、低成長の下での地域社会の関係性の再検討や、ITを使って在宅ワークや在宅学習等の進展による社会全体の働き方の変革や、感染予防の新しい生活様式など暮らしの変化が、ポスト新型コロナ社会と呼ばれている。こうした社会の変化の影響が大きい「最も弱い人」を守ることが福祉の使命であり、微弱な叫びをキャッチする各相談員の資質と地域の仕組みが必要である。事例から地域課題を抽出し、社会資源の整備につなげるという相談支援の原点を再認識し、委託事業等の内容に反映するよう働きかけた。</p>

	<p>(4) 頻発する自然災害への対策の取組み（プロジェクトの始動）</p> <p>施策推進協議会にて昨年度、提案された、「福祉と災害のプロジェクト」の設置については、自立支援協議会の地域生活支援部会内に相談支援部会と共同して設置となるはずだったが、コロナ禍で取組みがすすめられなかった。ただ、当協会は日本財団に防災関係の事業を申請し認可を得ることができた。さらに行政も「障害者災害時体制強化事業」として予算化するため、今年度は避難所のバリアフリー化の資機材を発注し、来年度はその配備と、計画相談による個別避難支援計画の作成するため、協会と行政がコラボしてプロジェクトに取り組む予定。</p>
	<p>(5) 静岡市の福祉に関する附属機関や諸会議への参画</p> <p>静岡市障害者施策推進協議会（委員）、静岡市障害者自立支援協議会（事務局の一部）、静岡市特別支援教育連携会議（委員）、成年後見制度利用促進協議会（委員）、共生のまちづくり計画策定懇話会（会長）、医療的ケア児等支援協会（委員）等へ参画し、当事者目線での課題を提出した<（ ）内は各会議等での立場>。特に障害者施策推進協議会の委員には、外部から社会福祉士で当協会の専門職アドバイザーを委嘱した安藤千晶氏（清水医師会所属）に出席していただき、権利擁護の視点からの意見を発表いただいた。</p> <p>また、自立支援協議会の専門部会においては、7つの専門部会（権利擁護虐待防止、地域生活支援、地域移行支援（同WG）、就労支援、相談支援、子ども）に部会員等として参画し活動を推進した。また受託している地域生活支援ネットワークまいむ・まいむの相談調整コーディネーターが相談支援部会と連携し、市内全相談支援事業所の訪問やアンケートの集約を行い、課題の共有や当面できることに着手した。</p>
	<p>(6) 新型コロナウイルス感染症拡大防止について</p> <ol style="list-style-type: none"> ①会員及び関係機関向けアンケートを実施し、利用者と事業者のニーズを把握した ②自立支援協議会など関連会議への出席時に、コロナの影響の把握や対策の立案を提案した ③中央福祉センターの会議室が利用停止や利用制限となったため、会議参加者を縮小し対応した ④集合での会議・研修ができなくなったので、オンラインソフト（Zoom）を年間契約し、カメラやマイクなどのパソコン周辺装置やポケットWi-Fi 機器を追加購入し（計2セット）、対応した。 ⑤寄付等（マスク、消毒液、寄付金等）を受け付けて、必要な会員等に配布するなど有効に活用した。 ⑥コロナ関連包括支援交付金（職員慰労金、機器の購入補助など）を最大限活用した。 ⑦相談支援事業を安全に進めるために、PCR 検査キットを購入し、全職員に2回検査を実施した

2	<p>法人自主事業（委託事業の地域生活及び社会参加等推進事業と合同して実施）</p> <p>(1) 障害者プラン勉強会</p> <p>10回の開催で延べ110人が参加。本年度は、次期「共生のまちづくり計画」の策定作業が本格稼働するはずだったが、「共生のまちづくり計画」に対する各当事者団体の要望等の反映のため、背景や仕組みなどについての勉強を行い、計画策定に関する理解を深め、各団体からの意見提案やパブリックコメントの提出に貢献した。</p> <p>(2) 移動支援・バリアフリー委員会</p> <p>今年度は、公共交通機関のバリアフリー化について交通政策課との話し合いを持ち、差別解消や社会参加の視点から事例を検討した。また通学における移動支援制度の利用やガイドヘルパーの資格者の範囲の拡大などについても取り上げるなど、自立支援協議会の生活支援部会PTと並行する形で協議を重ねた。</p> <p>(3) 防災委員会・防災事業</p> <p>月1回の防災委員会をベースに、参加型地域防災教育・活動による災害時要援護者住民支え合い支援体制モデルの確立事業（県立短大江原准教授の研究事業）への参画を継続した。</p> <p>ただ今年度は、コロナ禍のため宿泊防災訓練の実施は見送り、感染予防の観点からの避難所の</p>
---	--

	<p>設置、運営について行政の協力を得て午後の時間で実践的な訓練を実施した（11/21）。 読売新聞東京本社の取材を受け、宿泊防災訓練の様子が全国版の記事になった（3/2）。 年度末には、福島・宮城県地震のため、現地派遣の松山職員が、オンラインで報告するなど臨機応変でかつタイムリーな活動を行った。</p>
(4)	<p>共催事業・講師派遣・関係団体との協力 新型コロナウイルス感染症予防のため、心のバリアフリーイベントや他団体や市社協の行事や研修、講演はほとんど中止になったが、全国的な研修会などはかえってオンラインでの受講となった。特に、NPOの事務支援（山本職員）や災害支援（松山職員）はリモート研修を受講した。</p>

3	<p>静岡市委託事業（静岡市障害者相談支援推進事業）</p>
(1)	<p>静岡市より、基幹相談支援センターの委託を受け、市内10箇所の委託障害者相談支援センターと連携の下、地域での困難事例の解決や地域課題の集積により、不足する福祉サービス課題を抽出し、静岡市障害者自立支援協議会に提言した。 令和2年度は、「静岡市障害者共生のまちづくり計画」の策定年であり、基幹相談支援センターとして、①「重層的相談支援体制整備事業」への言及、②障害者支援施設からの日中サービス支援型共同生活援助への移行の言及、③福祉総務課が主管する「再犯防止推進計画」と「共生のまちづくり計画」の整合性を意見具申して、計画の中に盛り込まれた。</p>
(2)	<p>静岡市障害者虐待防止センターとして、24時間対応を行うとともに、市に通報のあった障害者虐待案件のコア会議やケース会議に参画することで、当事者団体の視点で障害者虐待の防止に努めた。また障害福祉サービス事業所向けの「障害者虐待防止研修会」を静岡市と共催し、障害児者福祉サービス事業所における障害者虐待防止の対応について理解を広げることができた。令和3年度より「障害者虐待防止委員会」の設置が義務化される中で、利用者、事業所双方からの事業所虐待の相談が増加することが想定されるので、協会としても対応を強化していきたい。</p>
(3)	<p>障害者110番事業においては、身体、知的、精神の各障害者相談員による相談日を週3回常設し、ピアカウンセリング的な立場から身近な相談場所として好評を得ている。加えて、本年度は「障害者相談員活動強化事業」を継続実施し、身体障害者相談員、知的障害者相談員向けの研修、実績報告の取りまとめを行った。昨年8月には、当協会が推薦した、身体障害者相談員の方に研修会で、シンポジストとして活動実践について発表していただき、障害者相談員の相互研修に資するものとなった。 重度心身障害のある方の家族の方の相談業務について、登校する特別支援学校での認知度が高まるように協力した。</p>
(4)	<p>社会福祉法の改正に伴う地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に資するために、“多職種との事例検討による目標指向型アプローチの視点に立った複合課題のアセスメントと家族支援研修”（スーパーバイザー：静岡福祉大学教授 増田樹郎氏）を定例化し、年度で5回研修会を行った。毎回50名前後の参加者を得て、関係行政職員、地域包括支援センター、介護支援専門員、ひきこもり支援センター、生活困窮者自立支援担当職員、障害者相談支援担当職員との課題の共有、連携ができた。</p>
(5)	<p>性加害・性犯罪を防止するための研修会を行うために、清水特別支援学校コーディネーターの國分聡子氏に「性教育は生き方教育」のテーマで講演を依頼したが、コロナ禍により止むを得ず中止をした。次年度に再開を予定している。</p>
(6)	<p>福祉総務課が主管する「再犯防止推進計画」について、基幹相談支援センターとしてもパブリックコメントに応募し、「高齢者や障害のある方の中には、適切な福祉につながることで、再犯につながらない人がある」という視点等について、計画に明記されるようになった。</p>

4	静岡市委託事業（生活保護精神障害者退院支援業務：福祉総務課主管）
	(1) 各行政区生活支援課から対象ケースについて集約がなく、令和2年度は事業委託自体がなくなった。令和3年度については、担当課より打診があり調整中である。
	(2) 地域移行支援事業（個別給付）については、精神科病院からの地域移行について、居住先を確保し、1件実施した。

5	地域生活支援ネットワーク（まいむ・まいむ）相談調整コーディネーター配置業務
	(1) 社会福祉法人花園会が運営する、障害者支援施設・生活介護・放課後デイサービス・計画相談支援・居宅介護事業所等の複合施設である宮前ロッヂに1名の相談調整コーディネーターを派遣していたが、コロナ禍による感染防止対策により、同法人の職員が地域の訪問を控える方針を受けて、相談調整コーディネーターについては、活動拠点を『静岡市番町市民活動センター』に移動して業務を継続した。（市民活動団体との交流が活発化する等の効果があった）
	(2) 計画相談支援事業所と連携し、困難事例の共有を図った。長期化する事例が多く、通院同行や居住先の確保、利用事業所の確保などの業務も増えていることが課題になっている。
	(3) 放課後デイサービス連絡会に参加し、学校等との連携の在り方について課題を共有した。静岡市特別支援教育連携会議の部会において、市内の放課後デイサービス事業所の概要や、療育の取組を報告することで、学校も放課後デイサービス事業所も同じ児童生徒の支援を行っている支援者であることの理解を上げることができた。 コロナ感染防止のための緊急事態宣言下で、学校休業があり、放課後デイサービス事業所が果たした役割は非常に大きいものがあった、放課後デイサービス事業所における学校休業時の児童生徒の様子を、学校からの照会に応える仕組みについて、情報提供をしたが、学校からの照会案件は皆無であった。放課後デイサービスと教育との更なる連携が課題となっている。
	(4) 触法障害者の入口支援に携わることで、障害福祉サービスで事実上みなし支給がないことの困難さや、執行猶予後の釈放時の情報の少なさ、居住先の確保の困難さを痛感するとともに、障がい特性に応じた「寄り添い型支援」の実働部隊がないことが大きな課題となっている。
	(5) 市民活動団体、自治会等との連携のために、静岡市地域福祉共生センター「みなくる」と協働し、健康増進企画に障害者が参加できるように協議した。

B 課題

1	協会の基本理念の再検討と実現への取組み・制度改革への対応
	(1) 協会の基本理念の再検討、明文化 当協会は、様々な障がい関係団体が大同団結していることで、行政や地域住民に一定の影響力を持って施策の提言を行うことができる。 これまでは『私たち抜きに私たちのことを決めないで！』のモットーと「どんな障がいがあっても取り残されない社会の実現」という目標が、当協会の考えと姿勢を示しており、この方向で基本理念の明文化に取り組む。
	(2) 障がい者の差別解消の取組みとしての地域支援協議会の稼働 静岡県の相談窓口（県社会福祉士会が受託）の班長である牧野会長が、内閣府主催の研修にも参加し、静岡市にも情報提供し働きかけた結果、やっと3年度から協議会を本格始動する方針になった。実は設置はされたことになっているが一度も開催されていない同協議会の始動と本来機能の発揮は、社会のあらゆる場面で当事者の権利や人権を守り、差別をなくすためには不可欠であり、障害福祉分野以外の分野との連携をしやすくなる。幅の広い分野での障害者の権利擁護の実現は積年の大きなテーマであるので、実効性のある仕組みづくりに貢献したい。

	<p>(3) 完成した「障がい共生のまちづくり計画」の具体化と実効性の確保 いわゆる障害者プランが完成し小冊子となったが、その内容には十分な検討がされていない部分と実現のための具体策がない部分があり、本計画の推進には課題が多い。 例えば、地域移行については精神障がいの病院からの地域移行は先行して取り組まれているが、3年度から身体・知的障がいの地域移行についても「地域移行部会」にて追加で取り扱う方針となった。画期的なことだが、入所施設への協力要請を含め、取り組むべき課題は多い。また、バックキャスト方式で策定された数値目標を達成するための具体的な施策についてはこれから考えることになった。特に、計画相談の相談支援専門員は現状71名を3年後124名にするためには50名以上の大幅な増員が必要だが、大胆な策を講じないと実現は困難。</p>
	<p>(4) 新しい相談支援体制である「重層的な相談支援体制」の取り組みへの関わり 本来は4年度からの実施される案件だったが、本市では5年度からの実施に向けてやっと準備に取り掛かる状況で少し遅れている。高齢者、子育て、障害者、生活困窮などの委託相談を、いわゆる「ワンストップ」でできるような体制を目指しているため、利用者としてはかなり相談しやすくなる。一方、障害者の委託相談支援機関には大きな影響が予想されるので、利用者と事業者の両方の立場で準備の段階からできるだけ関わる方針で取り組む。 ただ現状の「地域包括ケアシステム」では高齢者の相談機関の予算シェアが高いので、取り込まれてしまわないようにし、障害の専門性を大事にする働きかけを強めたい。分野の枠を取り払う「断わらない相談」の実現にむけ、8050問題や多問題家族への支援が円滑かつ包括的にでき、誰一人取り残さないようにする地域社会の実現を目指したい。</p>

2	<p>自主財源の確保</p>
	<p>(1) 現在は、静岡市よりの委託事業費が全収入の93.6%を占めている。相談案件、困難事例の大幅な増加により、同行支援（寄り添い型支援）や触法障がい者の支援も大幅に増え、専門部会の事務局的な業務も増加し、事業活動経費も増大している。また独自事業や各団体との協働事業を充実させるには、自由に使える自主財源が不足しているのは課題である。</p>
	<p>(2) 認定NPOの決定を受け、当協会は正式に寄付金控除団体になったが、5年ごとの更新に備え、更なる広報活動に努める必要がある。また一般社団法人非営利組織評価センター（JCNE）からグッドガバナンス認証を得ている（現在県内2団体）ので、認証マークが付与されている。これは信頼性の証として、ウェブサイトや広報物に掲載する等により活用しはじめたが、まだあまり成果が出ていない。今後、リニューアルしたホームページではクレジットカードでも寄附しやすい仕組みにしていることをアピールしていきたい。</p>
	<p>(3) 寄付金を多方面から頂けるようにするためには、全般的なアピールと同時に、特定テーマとその関係する層（セグメント）に絞った活動が必要だと考えている。触法系支援や成年後見人関係では弁護士、司法書士、社会福祉士であり、差別解消では民間事業所にも理解と支援をいただくような働きかけが適切だと考え、篤志家へのアピールも検討したい。</p>

3	<p>広報啓発活動の強化・連携の確保</p>
	<p>当協会は、自主事業の継続開催や障害者自立支援協議会の事務局機能の一部を果たすことにより、行政機関との協働関係を保ち、かつ当事者団体としての様々な提言を行っている。こうした活動を年間ですとまとめた成果物の作成と配布、リニューアルしたホームページでの説明、発信等により、広く地域住民に協会の活動を周知する必要がある。</p>

4	<p>業務の繁忙化と業務省力化、人材の確保、世代交代について、基幹相談支援センターの役割の検討</p>
	<p>委託相談支援事業の相談件数は1053件で、個別支援会議が133件、虐待対応会議が55件あり、その他自立支援協議等の部会、プロジェクトチームやその他の会議も含めると、全職員が</p>

<p>揃う日は皆無に近いのが実態である。加えて触法障がい者の入口支援等、緊急かつ集中的に取り組む必要のあるケースもあり、現体制では業務量が限界近くに達している。</p> <p>基幹相談支援センターの業務については、『地域生活支援拠点の面的整備（地域生活支援ネットワーク（まいむ・まいむ）』の設置を踏まえ、個別支援ケースは3年間程度の時間をかけ、委託相談支援事業所に移管することが検討され、当センターとしては、困難ケースの指導助言、地域の連携体制の強化、相談支援担当職員の実務研修の強化等について特化することが求められる。</p> <p>事務局長が定年（2月）を迎える前に臨時総会で理事に就任（12月）し、定年時には理事兼事務局長となり、3月の理事会で常務理事に就任いただいた。</p> <p>協会事業の次代を担う人材について事業所間連携も視野に入れた人材養成が課題となっている。</p>

II 法人運営

1 総会の開催状況

開催日/場所	種類	審議内容	出席状況	議決状況
5月28日 静岡市中央 福祉センター 協会事務室	通常総会	第1号議案 平成31/令和元年度事業報告並びに活動計算書について 第2号議案 令和2年度事業計画並びに活動予算について 第3号議案 役員(理事・監事)の改選について	36/41 (団体・個人)	全議案を承認
7月22日 静岡市中央 福祉センター 32会議室	臨時総会	第1号議案 銀行からの借入枠(500万円)の継続について	36/41 (団体・個人)	全議案を承認
12月3日 静岡市中央 福祉センター 32会議室	臨時総会	第1号議案 役員(理事)の追加について	38/44 (団体・個人)	全議案を承認

※今年度の総会は新型コロナウイルス感染予防のため、書面での表決をあわせて実施した。
参考：正会員数：45（内訳）団体正会員：27 個人正会員：18

2 理事会の開催状況

回数	開催日	審議内容	出席状況	議決状況
1 (49)	5月14日	審議事項 第1号議案 令和元年度事業報告及び活動計算書について 第2号議案 令和2年度事業計画案及び活動予算書について 第3号議案 役員(理事・監事)の改選について 報告事項 ① 在籍出向職員について ② 緊急事態宣言後の委託障害者相談支援事業について等	9/10 出席監事 1名	全議案を承認
2 (50)	6月1日	審議事項 第1号議案 会長の選任について 第2号議案 副会長の選任について	10/10 出席監事 なし	全議案を承認
3 (51)	6月24日	審議事項 第1号議案 銀行の借入枠(500万円)の設定継続と臨時総会への上程について	8/10 出席監事 なし	全議案を承認

4 (52)	9月10日	<p>審議事項</p> <p>第1号議案 「静岡市共生のまちづくり計画」への関わりについて</p> <p>第2号議案 「寄付金キャンペーン」の実施について</p> <p>第3号議案 新型コロナ対策の方針について</p> <p>報告事項</p> <p>① 来年度の委託事業の見積り</p> <p>② 静岡市社会福祉大会の運営委員</p> <p>③ 事業の運営 等</p>	9/10 出席監事 なし	全議案を承認
5 (53)	11月5日	<p>審議事項</p> <p>第1号議案 「静岡市共生のまちづくり計画」への関わりについて</p> <p>第2号議案 堀越事務局長の定年退職後の処遇と今後の職員配置計画案(案)について</p> <p>第3号議案 役員報酬規程の改定について</p> <p>報告事項</p> <p>① 今年度前期の予算執行</p> <p>② コロナ関係アンケート</p> <p>③ 弁護士会からの依頼</p> <p>④ 寄付金キャンペーン</p> <p>⑤ 事業の運営</p> <p>⑥ 第3回施策推進協議会の質疑事項</p>	7/10 出席監事 なし	全議案を承認
6 (54)	3月17日	<p>審議事項</p> <p>第1号議案 次期「静岡市共生のまちづくり計画」の策定状況と今後の対応について</p> <p>第2号議案 事業計画の骨子案について</p> <p>第3号議案 令和3年度の委託事業の契約及び予算案(概算)について</p> <p>第4号議案 堀越英宏理事兼事務局長を常務理事に推薦する件について</p> <p>報告事項</p> <p>① 触法障がい者への支援について</p> <p>② 今年度の予算執行について</p> <p>③ 寄付金キャンペーンとホームページのリニューアル</p> <p>④ コロナ対策の状況</p> <p>⑤ 事業の運営</p> <p>⑥ 職員配置計画について</p>	10/11 出席監事 1名	全議案を承認

会場 静岡市中央福祉センター内の31, 32会議室等

参考 理事定数 6名以上15名以内・・現状11名(会長1名、副会長4名、常務理事1名を含む/途中、臨時総会で1名増員した)

監事定数 2名以上 ・・現状 2名

3 わかば会(正副会長連絡調整会議)の開催状況

① 出席者 会長、副会長(4名)、事務局長、経理担当事務局員

② 開催日 10月29日、3月4日(2回開催)

③ 協議事項 理事会に付議すべき事項、契約、物品の購入の報告、職員人事、事業の進捗状況、報告、委託事業の状況、障害者施策の動向等

Ⅲ 協会自主事業

事業名	目的	内容								
1 会員団体の連携および拡大事業	協会事業の安定した運営を図るため、障がい者団体等に入会を勧め、自主財源を確保する。	<p>1. 会員の拡大 正会員は6件（団体3団体、個人3名）の加入があった（年度末で25団体・13個人）。 団体会員 県盲ろう者友の会（盲ろう重複当事者・支援者） 静岡ピアサポート連絡会（精神当事者） （N）天使のはね（事業所） ※なお、県LD等発達障害児・者親の会さんもくせいの役員が個人で入会した 協力会員については22件49,000円の加入があった。</p> <p>2. 自主財源等の確保充実 （1）寄付金 今年度は「相談を断らない」「誰も取り残さない」ための取り組みを前面に出した、寄付キャンペーンを実施した（12月）。その結果、年間を通して、現金85件1,765,063円をいただいた。件数、金額とも元年度を上回った。</p> <p>3. 協会の情報発信 （1）ホームページの運営 協会を広く紹介することと会員発の情報提供を目的にホームページを開設し、広報している。 ・今年度のアクセス件数は約3,000件 開設から約35,000件 年間平均2,330件 ・随時ブログを更新し、定期的な情報提供に努めた。</p> <p>（2）ホームページの全面更新の実施 ・職員の手作りでホームページを作成、更新してきたが、担当者や容量などの問題もあり、見直しを行った。 ・ホームページ全体のリニューアル計画を決定し、内容を検討し、業者に発注、構築作業を実施した。次年度から公開し、運用を行う。</p>								
2 会員団体への活動支援事業	研修等の事業を通して、会員団体の活動の充実に貢献する。	<p>1. 独自研修事業「障害者プランの勉強会」（全10回） 障がい者施策や障がい者を取り巻く事柄について研修、議論する場を設けた。今年度は「共生のまちづくり計画」がメイン。原則、毎月第三水曜、会場は静岡市中央福祉センター。</p> <table border="1" data-bbox="659 1576 1423 2063"> <tbody> <tr> <td data-bbox="659 1576 820 1727">第1回 6/17(水)</td> <td data-bbox="823 1576 1423 1727"> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの対応と課題について ・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」アンケート結果の意見交換 説明：牧野善浴 15名 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="659 1731 820 1839">第2回 7/15(水)</td> <td data-bbox="823 1731 1423 1839"> <ul style="list-style-type: none"> ・最近の風水害の特徴と要援護者支援について ・次期計画策定に向けたスケジュールについて 説明：牧野善浴 15名 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="659 1843 820 1921">第3回 8/19(水)</td> <td data-bbox="823 1843 1423 1921"> <ul style="list-style-type: none"> ・「共生のまちづくり計画」策定へのかかわりについて 説明：牧野善浴 10名 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="659 1926 820 2063">第4回 9/16(水)</td> <td data-bbox="823 1926 1423 2063"> <ul style="list-style-type: none"> ・8050問題についての各団体での事例の共有 ・事例紹介「地域で把握できていなかった8050世帯～緊急事態にどう対応するのか」 説明：安藤千晶氏 20名 </td> </tr> </tbody> </table>	第1回 6/17(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの対応と課題について ・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」アンケート結果の意見交換 説明：牧野善浴 15名	第2回 7/15(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の風水害の特徴と要援護者支援について ・次期計画策定に向けたスケジュールについて 説明：牧野善浴 15名	第3回 8/19(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「共生のまちづくり計画」策定へのかかわりについて 説明：牧野善浴 10名	第4回 9/16(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・8050問題についての各団体での事例の共有 ・事例紹介「地域で把握できていなかった8050世帯～緊急事態にどう対応するのか」 説明：安藤千晶氏 20名
第1回 6/17(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの対応と課題について ・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」アンケート結果の意見交換 説明：牧野善浴 15名									
第2回 7/15(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の風水害の特徴と要援護者支援について ・次期計画策定に向けたスケジュールについて 説明：牧野善浴 15名									
第3回 8/19(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「共生のまちづくり計画」策定へのかかわりについて 説明：牧野善浴 10名									
第4回 9/16(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・8050問題についての各団体での事例の共有 ・事例紹介「地域で把握できていなかった8050世帯～緊急事態にどう対応するのか」 説明：安藤千晶氏 20名									

第5回 10/21(水)	<ul style="list-style-type: none"> 策定懇話会（10/19開催）の報告 「回答様式」の書き方と意見交換 説明：牧野善浴 10名
第6回 11/18(水)	<ul style="list-style-type: none"> 障害者施策推進協議会（11/10開催）の報告 パブリックコメント「ご意見応募用紙」の書き方 説明：牧野善浴 10名
第7回 12/16(水)	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメント「ご意見応募用紙」の書き方 新型コロナウイルス感染対策について 説明：牧野善浴 10名
第8回 1/20(水)	<ul style="list-style-type: none"> 「障害者の福祉サービスの支援と再犯防止」 触法障害者への支援、静岡市再犯防止推進計画 (案)の「パブリックコメント」 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名
第9回 2/17(水)	<ul style="list-style-type: none"> 施策推進協議会の報告 今後の相談支援体制の大きな変化 「重層的支援体制の整備」について グループワーク 障がい者歯科保健について 説明：牧野善浴 10名
第10回 3/17(水)	<ul style="list-style-type: none"> 「共生のまちづくり計画（令和3～5年度）」を 切る I グループワーク 説明：牧野善浴、堀越英宏 10名

※4、5月分は新型コロナウイルス感染予防のため中止

2. 防災関係事業

今年度も、「西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会」に参加し、地域防災訓練に障がい当事者が参加するための取り組みを行ったほか、関係機関と連携して障がい者の防災対策に取り組んだ。

(1) 防災委員会（全8回）

構成：理事所属団体より選出された委員8名、学籍経験者、市社協職員が出席（行政職員も毎回出席）

開催は以下のとおり。（会場は中央福祉センター21会議室）

第4回	7/7(火)	第5回	8/4(火)
第6回	9/1(火)	第7回	10/6(火)
第8回	11/10(火)	第10回	1/12(火)
第11回	2/2(火)	第12回	3/2(火)

※第1～3回は新型コロナウイルス感染予防のため中止。第9回（12月）は訓練直後のため中止

(2) 西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会の事業に協力

① 実行委員会に出席（全7回）

6/24、7/31、8/28、9/25、10/23、11/6、1/29
8/28：駿河区地域総務課の石井係長の講話とQ&A
10/23：感染対策避難所開設のワークショップを実施

② 「西豊田学区避難所開設実践訓練」に協力

日時：11月21日(土) 13～16時
会場：静岡市立西豊田小学校 体育館
参加者：75名（職員4名参加）

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策をメインとし

		<p>た3時間の訓練(事前受付と誘導、ソーシャルディスタンスを保った配置等)とし、宿泊はしなかった。</p> <p>③災害時要援護者支援シンポジウム 3月6日(土)開催予定をコロナ対応のため延期</p> <p>(3)静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練(主催:県ボランティア協会)に協力</p> <p>①訓練(2/26~27)は新型コロナウイルス感染予防のため中止となった</p> <p>②ワーキンググループの諸会議に出席(松山) 10/13・23、11/2・11・16、12/3・16、2/3</p> <p>(4)その他</p> <p>①災害被災地の視察・現地での支援(松山) ・福島県新地町、宮城県山元町にて、福島沖地震被災地支援(会議、後方支援を含む) 2/15~3/4、3/8~12、3/20~27</p> <p>②防災関係の講座の講師(松山) ・災害ボランティア連携・協働研修会 ~官民の多様な支援主体の連携・協働に向けて~(1/27) ・岐阜県山県市立高富小のWeb講座(3/18)</p> <p>③市社協関係会議への出席(松山) ・災害ボランティアコーディネーター連絡協議会(8/6) ・市社協災害ボランティアセンター運営協議会(11/12) ・災害ボランティアセンターの動向について静岡市社協の担当職員にレクチャー(12/4) ・災害ボランティアシンポジウム(2/11、打合せ1/28)</p> <p>④静岡県ボランティア協会関係会議 ・災害ボランティアネットワーク委員会(8/31、10/22) ・南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会(7/31)</p> <p>⑤「災害発生時に備えた避難行動計画づくりのモデル」(次年度事業)が日本財団の助成事業に応募し、採択される(2/24)</p> <p>⑥読売新聞東京本社の取材を受け(Zoomにて1/25、26、29計8人)、宿泊防災訓練の様子が全国版の記事になった(3/2付朝刊)。</p> <p>3. 移動支援・バリアフリー委員会(全10回) 移動支援事業を利用者にとって使いやすいものにするための場であり、各分野と定期的な意見交換を図る。今年度は公共交通事業者との「協議の場」の設置の検討のほか、差別解消のための事例の研究などに取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成:理事所属団体等より選出された委員15名、行政職員 ・開催日及び主な内容は以下の通り。会場は中央福祉センター(3月のみ番町市民活動センター) <table border="1" data-bbox="660 1899 1422 2047"> <tr> <td data-bbox="660 1899 823 2047">第3回 6/27(木)</td> <td data-bbox="823 1899 1422 2047"> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 「共生のまちづくり計画」への提案について ・公共交通のバリアフリーについて 今年度の方向性について意見交換 </td> </tr> </table>	第3回 6/27(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 「共生のまちづくり計画」への提案について ・公共交通のバリアフリーについて 今年度の方向性について意見交換
第3回 6/27(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 「共生のまちづくり計画」への提案について ・公共交通のバリアフリーについて 今年度の方向性について意見交換 			

		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="657 150 821 302">第4回 7/30(木)</td> <td data-bbox="821 150 1422 302"> <ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 「共生のまちづくり計画」への提案(7/8)について報告 ・公共交通のバリアフリーについて </td> </tr> <tr> <td data-bbox="657 302 821 454">第5回 8/27(木)</td> <td data-bbox="821 302 1422 454"> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリーについて 都市計画と交通バリアフリーについて ・移動支援について 「共生のまちづくり計画」の策定の進捗状況 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="657 454 821 607">第6回 9/24(木)</td> <td data-bbox="821 454 1422 607"> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリーについて ①「バリアフリー新法の改正」について ②行政説明 静岡市の「交通バリアフリー基本構想」について(静岡市交通政策課) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="657 607 821 714">第7回 10/22(木)</td> <td data-bbox="821 607 1422 714"> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関のバリアフリーについて ①前回の行政説明の振り返り ②意見書の提出について意見交換 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="657 714 821 866">第8回 11/26(木)</td> <td data-bbox="821 714 1422 866"> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関との「協議の場の設置」への働きかけについて ・「共生のまちづくり」計画案へのパブリックコメントについて </td> </tr> <tr> <td data-bbox="657 866 821 974">第11回 2/25(木)</td> <td data-bbox="821 866 1422 974"> <p>「バリアフリー障害当事者とっかかり研修～全国の防災とバリアフリーの取組みについて～ 説明：小久江 寛氏(ひまわり事業団)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="657 974 821 1081">第12回 2/25(木)</td> <td data-bbox="821 974 1422 1081"> <ul style="list-style-type: none"> ・共生のまちづくり計画の中の「移動支援・バリアフリー」関係の内容について ・公立学校のバリアフリー化の動き </td> </tr> </table> <p>※第1回、2回、10回は新型コロナウイルス感染予防のため、第9回は諸般の事情でそれぞれ中止した。</p> <p>4. 会員団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①コロナ対策については、難障協、重心守る会などへ打診した ②静岡盲ろう者友の会の事業(同行援護など)の立ち上げについて相談を受け、情報提供した(7~8月)。 ③精神の当事者の動きに合わせて、団体の立上げ、協会への加入などを働きかけた。 ④きんもくせい(発達障害者の親の会)へは「まちづくり計画」の理解と提案への助言を行った。 	第4回 7/30(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 「共生のまちづくり計画」への提案(7/8)について報告 ・公共交通のバリアフリーについて 	第5回 8/27(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリーについて 都市計画と交通バリアフリーについて ・移動支援について 「共生のまちづくり計画」の策定の進捗状況 	第6回 9/24(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリーについて ①「バリアフリー新法の改正」について ②行政説明 静岡市の「交通バリアフリー基本構想」について(静岡市交通政策課) 	第7回 10/22(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関のバリアフリーについて ①前回の行政説明の振り返り ②意見書の提出について意見交換 	第8回 11/26(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関との「協議の場の設置」への働きかけについて ・「共生のまちづくり」計画案へのパブリックコメントについて 	第11回 2/25(木)	<p>「バリアフリー障害当事者とっかかり研修～全国の防災とバリアフリーの取組みについて～ 説明：小久江 寛氏(ひまわり事業団)</p>	第12回 2/25(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・共生のまちづくり計画の中の「移動支援・バリアフリー」関係の内容について ・公立学校のバリアフリー化の動き
第4回 7/30(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援について 「共生のまちづくり計画」への提案(7/8)について報告 ・公共交通のバリアフリーについて 															
第5回 8/27(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリーについて 都市計画と交通バリアフリーについて ・移動支援について 「共生のまちづくり計画」の策定の進捗状況 															
第6回 9/24(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバリアフリーについて ①「バリアフリー新法の改正」について ②行政説明 静岡市の「交通バリアフリー基本構想」について(静岡市交通政策課) 															
第7回 10/22(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関のバリアフリーについて ①前回の行政説明の振り返り ②意見書の提出について意見交換 															
第8回 11/26(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関との「協議の場の設置」への働きかけについて ・「共生のまちづくり」計画案へのパブリックコメントについて 															
第11回 2/25(木)	<p>「バリアフリー障害当事者とっかかり研修～全国の防災とバリアフリーの取組みについて～ 説明：小久江 寛氏(ひまわり事業団)</p>															
第12回 2/25(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・共生のまちづくり計画の中の「移動支援・バリアフリー」関係の内容について ・公立学校のバリアフリー化の動き 															
3 障がい者福祉及び啓発事業	障がい者福祉について市民に啓発し、理解を広める。	<p>1. 各種団体と連携し、啓発的な事業に協力する。</p> <p>(1) 会員への広報啓発、相互協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ①共生のまちづくり計画のパブリックコメントを会員団体に働きかけ、コメントについての相談等にも応じた。結果として全部で36件の意見が集まり、12月18日に障害福祉企画課に提出した ②静岡市再犯防止計画のパブリックコメントを関係団体に働きかけた。結果として全部で13件の意見が集まり、1/18に福祉総務課に提出した。 <p>2. 静岡市主催の事業への協力</p> <p>(1) 心のバリアフリーイベント関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会に出席(10/8、11/9、1/22) ・障害者週間のパネル展示に参加(12/3~9: 葵区役所) 														

		※イベント(3/6)は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止
4	スポーツ及び文化活動への促進事業 障がい者スポーツや文化活動を通して障がい者の社会参加を促進する。	<p>1. 障害者スポーツ大会などへの支援と助言 全国障害者スポーツ大会の市選手団長に大塚康夫氏(静岡市清水社会福祉事業団理事長)を推薦した</p> <p>2. 文化活動への支援と助言 第35回障害者による書道・写真全国コンテスト(戸山サンライズ主催)応募の取りまとめ 応募:書道の部31点(4団体) 成績:入賞者なし</p>
5	新型コロナウイルス感染の予防 【臨時】 新型コロナウイルスの感染の予防を行う	<p>1. 会員・関係機関向けアンケートの実施 (1) 正会員に対して、障害者団体と会員のコロナ禍の影響と課題についてアンケートを実施した。 回答数は105件(配布数206件:回答率は51%) (2) 地域生活支援ネットワークまいむ・まいむ相談調整コーディネーターと当センターによる、「緊急事態宣言後の障害福祉サービス等事業所の対応通知に伴う委託障害者相談事業所及び計画相談支援事業所の影響に関するアンケート」の集計結果について関係行政機関と相談支援事業所にメールにて配布した。(5月)</p> <p>2. 関係機関の会議への出席、働きかけ (1) 医ケア児等支援協議会主催のコロナ対策会議に出席(4/13:牧野) (2) 障害福祉企画課へ「コロナ対応のための障害者の委託相談機関の役割について(提案)」を提出(4/20) (3) 行政からのエタノール消毒液の配給を受け、生活介護事業所に配分のための準備(4/28~)及び小分け作業と配達(4/30:会長、4施設担当) (4) 新型コロナウイルス感染予防対応プロジェクトチームについて障害福祉企画課と打合せ(6/2:会長) (5) リモート会議の実施のためZoomのライセンス契約を行った。(7/28)</p> <p>3. 寄付の受付 (1) 静岡葵ライオンズクラブ様よりマスク2,000枚の寄贈を受ける(5/28)。全市連絡調整会議などにて(相談支援機関2ヶ所、フードバンク1ヶ所ほか)配布した(6/23) (2) 明治安田生命静岡支社様より「新型コロナウイルス感染症拡大をふまえた社会貢献の取り組みについて」の一環として寄付金をいただく。(7/27)</p> <p>4. 協会事務局関係 (1) 中央福祉センターの会議室が4月17日から5月31日の間、利用停止となった。解除後も10月31日まで会議室の利用人数を減らして会議を実施し、あわせて指定管理者の市社協に早期改善を申し入れた。 (2) PCR検査キットを用いて抗体検査を実施(2/2,3/15)</p>

		し、結果全員が「低リスク」と判定 (3) 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を申請し、交付を受けた。(8/31,2/4)
6 その他の事業	会議、委員会等への参加及び連絡調整等の事務、業務	<p>1. 公的な会議、委員会への参加等</p> <p>(1) 静岡市関係（詳細は「IV 静岡市障害者相談支援推進業務」を参照）</p> <p>①障害者施策推進協議会に出席（副会長が委員）</p> <p>②障害者自立支援協議会に出席（副会長が委員、会長・事務局長は事務局）</p> <p>③静岡市障がい者共生のまちづくり計画」策定懇話会（会長が委員）</p> <p>④障害支援区分（非定型）審査会に出席（事務局長が委員）</p> <p>⑤特別支援教育連携協議会に出席（会長が委員）</p> <p>(2) 静岡市社会福祉協議会関係</p> <p>①理事会に理事として出席（6/15、7/27、10/30、12/4、2/4、3/19：会長）</p> <p>②静岡市社会福祉大会に運営委員として出席（本番 11/18、運営委員会 9/23、打合せ 10/5：牧野）</p> <p>※当協会理事の久保田兼子氏が市社協会長表彰を受けた。</p> <p>③地域福祉計画策定委員会に出席（3/22：職員）</p> <p>④ボランティア・市民活動センター運営協議会に出席（10/29、2/18：事務局長）</p> <p>(3) 障がい者団体の会議等への出席</p> <p>①静岡市静岡手をつなぐ育成会の諸会議（監査 4/20、総会 5/16、役員との顔合わせ 7/6：会長）</p> <p>②（社福）静岡市手をつなぐ育成の会の理事会に出席（6/15、1/28：事務局）</p> <p>③（社福）ハルモニアの諸会議に出席（監事監査 5/19、10/14、理事会 10/24、2/27、評議員会 11/14、3/9：事務局長）</p> <p>④（社福）ラルシュカナの家の理事会に出席（6/6、10/17、1/16、3/27：事務局長）</p> <p>⑤（一社）静岡県社会福祉士会の総会に出席（議長）（5/23：会長）</p> <p>⑥（N）ひまわり事業団の諸会議に出席（監査 5/18、理事会 8/28、2/24、理事会の打合せ 8/24：会長、職員）</p> <p>⑦（N）サンフォレストの理事会等に出席（監事監査 5/21、理事会 12/13、3/13：事務局長）</p> <p>⑧（N）おのころ島の監事監査に出席（5/25：会長）</p> <p>⑨（N）ぴゅあの理事会等に出席（監事監査 6/5、理事会 11/25：事務局長）</p> <p>(4) その他</p> <p>①静岡市中央福祉センター利用団体連絡会に出席（8/26）</p> <p>②静岡市清水市民活動センター利用団体連絡会議に出席（9/25）</p> <p>③番町市民活動センターの貸会議室についてセンター長及び担当者と面談（2/5）</p>

		<p>2. 協会事業の広報・マスコミ対応</p> <p>(1) K-mix「Dr.寺田のここからだクリニック」の収録に参加、障害者相談支援推進センターの活動を紹介した。(5/8、9/3に放送)</p> <p>(2) 医療的ケアについて、静岡新聞の取材を受ける(10/16)</p> <p>(3) フリーマガジン「すろーかる」の特集「私たちのまちのSDGs。」に当協会の事業が掲載された(有料5万円、取材12/2、12/24より市内各所で無料配布開始)</p> <p>(4) 読売新聞東京本社取材を受け(Zoomにて1/25、26、29計8人)、宿泊防災訓練の様子が全国版の記事になった(3/2付朝刊)。(再掲)</p>
--	--	---

IV 静岡市障害者相談支援推進業務(静岡市委託事業)

事業名	目的	内容
1 静岡市障害者相談支援推進事業の整備、企画、推進	障害者相談支援推進事業として、基幹相談支援センター事業と障害者相談支援推進事業を運営するための体制を整備し、事業を企画、推進する。	<p>1. 本事業の運営の体制整備、企画、推進</p> <p>(1) 業務の体制整備</p> <p>①開所日：243日(土、日、祭日、年末年始を除く)</p> <p>②開所時間：原則9時～17時</p> <p>③人員：8名(うち、管理者1名、相談支援専門員4名、社会福祉士3名、介護福祉士1名、社会福祉主事任用資格4名：重複あり)</p> <p>(2) 基幹相談支援センター関係の企画・推進</p> <p>①総合的・専門的な相談支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的・専門的な相談支援 ・困難事例への対応 ・個別支援計画の作成支援等 ・個別支援会議の実施 <p>②地域の相談支援体制の強化の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の相談機関への助言・指導 ・地域の相談支援事業者の人材育成支援 ・全体会議の運営 ・区の調整会議の運営支援 ・自立支援協議会の運営への協力 ・地域の相談機関との連携強化 <p>③地域移行・地域定着の促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設等関係機関とのネットワーク作り <p>④権利擁護・虐待の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度利用の支援 <p>(3) 障害者相談支援推進事業の企画、推進</p> <p>①障害者110番事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三障がいごとに選任された障害者相談員が、事務所にて相談対応を担当 <p>②身体障害者補助犬相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県補助犬支援センターに事業助成して実施 ・月次報告を受理 <p>③地域生活及び社会参加等推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のバリアフリーイベントの企画への協力

		<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ①牧之原市自立支援協議会関係会議への協力 <ul style="list-style-type: none"> ・防災部会のアドバイザー及び講師（牧野、松山） 防災部会 7/16、9/17、11/19、2/24、事前打合せ 7/2 ・川崎区防災フィールドワークの講師（10/19） <p>2. 障がい福祉に関わる関係機関の連携強化と支援体制の整備促進</p> <p>(1) 心のバリアフリーイベント【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会に出席（10/8、11/9、1/22） ・障害者週間のパネル展示に参加（12/3～9：葵区役所） ※イベント（3/6）は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止 <p>(2) 行政関係（静岡市）の会議への出席</p> <p><障害福祉企画課関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ①障害者施策推進協議会に出席（8/6、11/10、2/5 出席：専門職アドバイザー、傍聴：会長・事務局長、打合せ 11/9、2/4） ②静岡市共生のまちづくり計画策定懇話会に出席（10/19、打合せ 7/20、10/12：会長） ③静岡市医療的ケア児等支援協議会（要綱設置）に出席（6/3、9/4、11/6、2/5、作業部会 4/13、打合せ 10/19、11/3、1/29：会長） ④通学における移動支援個別検討会議に出席（10/26、1/18、2/25：会長） ⑤入所児童地域移行等支援会議に出席（7/28、10/23：事務局長） ⑥移動支援養成研修の振り返りのための打合せに出席（11/11：事務局長） ⑦非定型審査会に出席（4/22、5/27、6/24、7/20、8/20、9/24、10/22、11/19、12/21、1/21、2/17：事務局長） <p><精神保健福祉課関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ①書面協議にて実施の措置入院者の地域支援協議会に参加（2/8：会長） ②精神障がい版のなんでも相談会の開催について、精神保健福祉課と打合せ（3/12：会長、事務局長） <p><福祉総務課関係></p> <p>成年後見制度利用促進協議会に出席（12/14、3/10：会長）</p> <p><教育委員会関係・その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ①特別支援連携会議（市教委主催）に出席（連携会議：7/8、2/3、自立支援部会：9/1、11/6：会長） ②静岡市歯と口腔の健康づくり推進会議（健康づくり推進課主催）に出席（6/11、7/14、2/2：会長） ③障がい者歯科保健推進会議（障害者歯科保健センター主催）に出席（1/22：会長） <p>(3) 機関等の会議への出席</p> <p><市社会福祉協議会関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ①静岡市生活困窮者自立相談支援事業調整会議に出席（4/24、5/22、6/26、7/31、9/25、10/23、11/27、12/25、1/22、2/26、3/26：事務局長、職員）
--	--	---

		<p>②医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会（銀さら勉強会主催）に出席（6/6、7/18、11/9、1/28、2/13：事務局長）</p> <p><司法関係> 県弁護士会と福祉関係者の連携会議（3/6）に出席（8/28：会長、事務局長、職員）</p> <p>（4）差別解消への取り組み <静岡県障害者差別解消窓口（静岡県社会福祉士会が受託）への協力>（担当は会長）</p> <p>①障害者差別解消相談窓口相談担当として出席 （4/1・7・21、5/1・26、6/2・26、7/7・21、8/4・18・25 9/8・15、10/6・20、11/17、12/1・15、1/5・12・19 2/2・16、3/2・16）</p> <p>②事例検討会に出席（7/30、11/27、3/2、3/26）</p> <p>（5）その他</p> <p>①新型コロナウイルス感染予防対応プロジェクトチームについて障害福祉企画課と打合せ（再掲・6/2）</p> <p>②障害福祉企画課と計画相談と災害時の対応について協議（10/28）</p> <p>③計画相談と災害時支援のプロジェクトについて、県立短大江原准教授との打合せに出席（12/18）</p>
<p>2 基幹相談支援センター事業</p>	<p>総合的・専門的な相談支援、相談機関職員の育成、困難事例への対応、相談支援事業者に対する支援・助言を行なう。 自立支援協議会に協力して課題の解決や福祉の向上に努める。</p>	<p>1. 総合的・専門的な相談支援の実施</p> <p>（1）総合的・専門的な相談支援事業</p> <p>①常設窓口（月～金曜日 午前9時～午後5時）</p> <p>②相談件数 計 754 件（市内 719、市外 12、不定 14、不明 9）</p> <p>③障がい種別 身体 29 件（肢体 7、聴覚 2、視覚 15、重複：肢体・視覚・聴覚 1、不明 4）、知的 368 件、精神 125 件、重心 15 件、発達 31 件、高次脳 1 件、重複 158 件、その他 2 件、不明 25 件</p> <p>（2）困難事例への対応</p> <p>①対応件数 365 件</p> <p>②主なケース</p> <p>a.知的障がい者への支援 独居の知的障がいのある方の金銭管理、通院同行支援 知的障がいのある方への転居、こども園の手續支援</p> <p>b.触法障がい者への支援 窃盗で逮捕された知的障がい者の再犯防止計画の作成</p> <p>c.発達障がい者への支援 発達障害の子どもを持つ母親への支援（傾聴、助言など）</p> <p>③ケース会議への参加及び助言・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援会議開催 3 回 ・個別支援会議参加 130 回 <p>2. 地域の相談支援体制の強化の取組</p> <p>（1）地域の相談機関への助言・指導 86 回</p> <p>①相談支援センターの相談支援の質の向上の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困難ケースへの同行、ケース会議への同席 <p>（2）地域の相談支援事業者の人材育成支援 38 回</p> <p>①相談支援職員研修会の実施</p>

		<p>(障害者相談員障害別研修会と同時開催) 日程：8月7日(金) 13:30~15:30 会場：静岡市城東保健福祉エリア 第1・2研修室 内容：①行政説明(市障害福祉企画課) ②障害者相談員からの報告 テーマ「障害者相談員の委嘱を受けて、考えたこと」 発表者 昨年度委嘱を受けた身体障害者相談員の方(4名) 参加者：障害者相談員 46名(身体26名、知的20名) ②「多職種との事例検討による目標指向型アプローチの視点に立った複合課題のアセスメントと家族支援研修」の開催 (地域支援ネットワーク「まいむ・まいむ」と共催) 全5回開催(7/17、9/7、11/20、1/8、3/5) ※内容は「5. 地域生活支援ネットワーク相談支援コーディネーター配置業務」の項を参照 ③事業所などの職員を対象にした講演会の講師 15回 ※回数には打合せ等を含む。日時・内容は後述 ④当協会の相談担当職員のスキルアップを目指した講演会の受講 9回 ⑤その他 研修会の打合せへの出席 2回</p> <p>(3) 全体会議の運営 自立支援協議会の実働部隊として各区で開かれる相談支援センターを中心とした連絡調整会議として、グループワーク等を通して困難事例・課題などを検討した。</p> <p>①第33回(令和2年度第1回)全体連絡調整会議 日時 6月23日(火) 13:30~15:30 会場 静岡市中央福祉センター 大会議室 議題 ・第1回静岡市障害者自立支援協議会に向けた地域課題等について ・成年後見センターの開所について ・参加機関団体からの連絡事項 ※自立支援協議会相談支援部会と同日開催</p> <p>②第34回(令和2年度第2回)全体連絡調整会議 日時 12月22日(火) 13:30~15:15 会場 静岡市中央福祉センター 大会議室 議題 ・第4回静岡市障害者自立支援協議会に向けた地域課題について ・「静岡市成年後見支援センターを開設して」 静岡市成年後見支援センター(静岡市社会福祉協議会) 鷺坂 学 氏 静岡市福祉総務課 海野 麻衣 氏 ・第2回静岡市障害者自立支援協議会に向けた地域課題・各専門部会の活動状況等について 委託相談支援事業所の在り方など ・コロナ禍での連携について NPOまあぶる 副理事長 望月晃次 氏 ・参加機関・団体から情報提供 ※自立支援協議会相談支援部会と同日開催</p>
--	--	---

		<p>(4) 行政区の連絡調整会議の運営支援 各相談支援事業者の困難事例、課題について検討した。各区の自立支援協議会として就労継続支援の更新審査を実施。</p> <p>①各区連絡調整会議事務局会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題：就労継続支援更新審査 困難事例への支援策検討等 問題解決策の検討 ・開催日時及び会場 〔葵 区〕 (城東福祉エリア) 第1回 4/14、第2回 5/12、第3回 6/9、 第4回 7/14、第5回 8/11、第6回 9/8、 第7回 10/13、第8回 11/10、第9回 12/8、 第10回 1/12、第11回 2/9、第12回 3/9 〔駿河区〕 (駿河区役所) 第1回 4/21、第2回 5/19、第3回 6/9、 第4回 7/14、第5回 8/11、第6回 9/15、 第7回 10/13、第8回 11/10、第9回 12/15、 第10回 1/12、第11回 2/9、第12回 3/9 〔清水区〕 (清水区役所) 第1回 4/8、第2回 5/13、第3回 6/10、 第4回 7/8、第5回 8/12、第6回 9/9、 第7回 10/14、第8回 11/12、第9回 12/9、 第10回 1/13、第11回 2/10、第12回 3/10 <p>連絡調整会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議題：事例報告と意見交換 等 ・開催日時及び会場 〔葵 区〕 4/14、5/12、6/9、7/14、8/11、9/8、10/13、 11/10、12/8、1/12、2/9、3/9 会場：城東福祉エリア 〔駿河区〕 4/21、5/19、6/9、7/14、8/11、9/15、10/13、 11/10、12/15、1/12、2/9、3/9 会場：駿河区役所 〔清水区〕 4/8、5/13、6/10、7/8、8/12、9/15、10/13、 11/12、12/9、1/13、2/10、3/10 会場：清水区役所 <p>駿河区事務局会議交流研修会に講師として出席 (2/9：会長)</p> <p>(5) 地域の相談機関との連携強化</p> <p>①静岡労働局 (ハローワーク静岡) との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労ワンストップ相談窓口の対応 葵 区 4/16：0件、6/18：1件、8/20：0件、 10/15：2件、12/17：0件、2/17：0件 年間計 3件 <p>②研修等への講師としての参加・協力</p> <p><障害福祉企画課関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所の新任職員研修 (児相と相談支援事業所との連携：5/21：事務局長) <p><市社協関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市市民後見人養成講座 (11/18：事務局長)
--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> ・城東保健福祉センターエリアボランティア研修（12/9：事務局長） <特別支援学校関係> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡北特別支援学校の進路勉強会（テーマ：相談支援の現場から見た児童・青年期から準備する「生活力」）（2/16：事務局長） <災害・防災関係>【再掲】 <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア連携・協働研修会 ～官民の多様な支援主体の連携・協働に向けて～（1/27） ・岐阜県山県市立高富小のWeb講座（3/18） ○事業所・団体等からの依頼による講師 <テーマ：福祉制度> <ul style="list-style-type: none"> ・(N)天使のはね「えんぜる」の職員研修（8/27：事務局長） <テーマ：相談支援機関の連携（地域包括支援センター）> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第2回安西番町地域包括支援センター圏域介護支援専門員連絡会（2/16：事務局長） ・伝馬町横内地域包括支援センター・千代田地域包括支援センター圏域介護支援専門員連絡会（3/16：事務局長） <テーマ：就労> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市静岡手をつなぐ育成会成人部勉強会（1/21：事務局長） <テーマ：感染予防> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームみおつくしの職員研修会防など（4/11：事務局長） <テーマ：その他> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡盲ろう者友の会の勉強会（テーマ：NPO法人等に関する研修会～法人格と同行支援）に講師として参加（8/8：会長） ④研修等の受講・講演会の出席・参加 <相談支援関係> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での通所事業所連携会議（地域支援ネットワークまあぶる主催）に出席（11/19、12/10） ・第45回静岡県小児保健学会（ZOOMでの開催）に参加（11/29） ・ホスピタルプレイ協会国際シンポジウム・研究大会のミニシンポジウムの収録を行う（1/15、県立短大江原准教授との打合せ1/7） ・国際シンポジウム（HPSと県立短大主催）の医療的ケア児支援のミニシンポに出席、インターネットライブ配信（2/10-16：牧野） <事務局関係> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO向けテレワークに必要なIT研修会に参加（5/21、6/11・18） ・全国NPO事務支援カンファレンス総会（6/29） ・NPOの事務力アップ講座&交流会に参加（7/14） ・グッドガバナンス認証団体 オンライン交流会 Vol.01 に参加（7/29）
--	--	--

		<ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックガバナンスチェック評価実績レポート（2020年版）報告会に出席（2/25） ・NPO会計コミュニティに参加（1/15） ・NPO会計オンラインセミナー（NPO会計基準協議会主催）を受講（1/20、2/24、3/24） ・認定NPO法人入門クラスに出席（2/22） ・社会保険講座（静岡年金事務所主催）に出席（10/13、2/12） ・年度末対策オンラインセミナー（岡山NPOセンター主催）を受講（3/9） <p>3. 障害者自立支援協議会の運営への協力</p> <p>(1) 市主催の障害者自立支援協議会に役員が委員として出席し、障がい当事者の立場から意見を具申した。また、職員が事務局として運営に協力した。</p> <p>①第29回（令和2年度第1回）協議会 日時 7月16日（木） 14：00～16：00 会場 市役所本館3階 第1委員会室 議題 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について ・専門部会の活動報告及び令和2年度活動案について ・各区の地域課題及び令和2年度活動案について ・次期障がい者共生のまちづくり計画について ・報告事項</p> <p>②第30回（令和2年度第2回）協議会 日時 8月24日（月） 14：00～16：00 会場 市役所本館3階 第1委員会室 議題 ・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」（障がい福祉計画・障がい児福祉計画部分）策定について</p> <p>③第31回（令和2年度第3回）協議会 日時 11月2日（月） 14：00～16：00 会場 市役所新館 17階 171、172会議室 議題 ・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」（障がい福祉計画・障がい児福祉計画部分）策定について</p> <p>④第32回（令和2年度第4回）協議会 日時 1月26日（火） 14：00～16：00 会場 市役所本館3階 第1委員会室 議題 ・次期「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」について ・各区連絡調整会議の活動実績及び今後の活動方針について ・専門部会の廃止について ・報告事項</p> <p>(2) 協議会内の部会・プロジェクトチーム（PT）に参加</p> <p>①子ども部会（部会6/19、12/22、作業部会8/5、打合せ1/26）</p> <p>②地域移行支援部会（6/22、7/6、12/9、1/18）</p>
--	--	---

		<p>③地域移行支援部会ワーキンググループ会議に出席（本番 6/17・25、8/27、9/24、12/24、1/28、事前打合せ 4/23、5/28）</p> <p>④権利擁護・虐待防止部会（6/12、8/26、11/19、障害者虐待事例検証会 10/16）</p> <p>⑤就労支援部会（部会 6/15、12/9、「ゆうやけ相談会」 9/18、就労移行支援事業所連絡会 2/16、準備会 10/29、就労移行事業所説明会「就フェス」 3/3）</p> <p>⑥相談支援部会（本番 6/23、12/22、事前打合せ 6/15、勉強会 9/11、2/19、打合せ 9/8、1/22）</p> <p>⑦相談支援評価部会に出席（8/31、評価様式の変更について打合せ 10/28、11/2）</p> <p>4. 地域移行・地域定着の促進の取組</p> <p>(1) 触法障害者の再犯防止政策の作成、情状証人、弁護士との連携（接見の同行）、地域定着支援（金銭管理等） 対象者 10 名：294 回</p> <p>(2) トラブルシューター（TS）ネットワーク活動への協力 関係会議、打合せへの参加（5/15・30、6/6・13・20、7/11・13、8/25、9/24、10/22・24、11/17・24、12/21、1/10・24、2/7・17・20・22、3/17・18・29：事務局長）</p> <p>(3) 関係する機関の会議等への出席【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援部会ワーキンググループ会議に出席（6/17・25、8/27、9/24、12/24、1/28：会長、職員） ・県弁護士会と福祉関係者の連携会議に出席（3/6：会長、事務局長、職員） <p>5. 権利擁護・虐待の防止 ※詳細は「4 障害者虐待防止センター事業」参照</p>
<p>3 障害者相談支援推進事業</p>	<p>基幹相談支援センター以外の相談支援について、全体的、網羅的に対応し、相談員を配置して総合的な相談支援にあたる。</p>	<p>1. 障害者110番事業</p> <p>(1) 相談業務</p> <p>①開設時間（月～金曜日 午前9時～午後5時）</p> <p>②障がい別相談と担当団体（午前10時～午後4時）</p> <p>火曜 知的 育成会（静岡・清水）、重心守る会 水曜 身体 肢体（清水）、内部、視覚 木曜 精神 心明会、しいの木</p> <p>③障がい別相談員 延べ166名（243日間）</p> <p>(2) 相談の概要</p> <p>①相談件数 計299件（市内283、市外7、不明9）</p> <p>②障がい種別 身体13件（肢体6、視覚6、不明1）、知的126件、精神58件、重心1件、発達9件、重複87件、不明5件</p> <p>(3) 110番相談員活動強化事業 障害者110番相談員研修会（静岡市身体障害者・知的障害者相談員研修会と同時開催） 日程：8月7日（金） 13:30～15:30 会場：静岡市城東保健福祉工リア 第1・2研修室 内容：①行政説明（市障害福祉企画課） ②障害者相談員からの報告</p>

		<p>テーマ「障害者相談員の委嘱を受けて、考えたこと」 発表者 昨年度委嘱を受けた身体障害者相談員の方 (4名) 参加者：障害者相談員 46名(身体26名、知的20名)</p> <p>2. 地域生活及び社会参加推進事業 (1) 障がい者等の芸術・文化活動およびスポーツの推進 第35回障害者による書道・写真全国コンテスト応募取りまとめ(再掲) (2) 障がいについての理解促進、普及啓発活動の推進 心のバリアフリーイベント関連 ・実行委員会に出席(10/8、11/9、1/22) ・障害者週間のパネル展示に参加(12/3～9：葵区役所) ※イベント(3/6)は新型コロナウイルス感染予防対策のため中止</p> <p>3. 障害者相談員活動強化業務 (1) 障害者相談員研修会の実施 全体研修会 兼 障害別研修会(身体) 日程：8月7日(金) 13:30～15:30 会場：静岡市城東保健福祉エリア 第1・2研修室 内容：①行政説明(市障害福祉企画課) ②障害者相談員からの報告 テーマ「障害者相談員の委嘱を受けて、考えたこと」 発表者 昨年度委嘱を受けた身体障害者相談員の方 (4名) 参加者：障害者相談員 46名(身体26名、知的20名)</p> <p>(2) 活動に関する報告書等の内容確認の実施</p>
4 障害者虐待防止センター事業	<p>障害者虐待の通報を受け、関係機関と連携し、障害者及び擁護者に対する相談・指導・助言を行なう。当事者の視点で本人の人権を守り、権利を擁護する。</p>	<p>1. 障害者虐待防止センターの設置・運営 (1) 開設時間(24時間 365日) 平日(月～金)9時～17時 職員が対応 上記以外 携帯電話に転送、職員が対応 (2) 対応件数 計63件 延べ人員 41人(うち実人員56人)</p> <p>2. 虐待関連の会議(コア会議、ケース会議)に出席 (1) 虐待対応会議への出席(28回) (2) 虐待コア会議に出席(27回) (3) その他 障害者虐待事例検証会に出席(10/16、事前打合せ10/9：会長、事務局長)</p> <p>3. 虐待防止の啓発 (1) 自立支援協議会の権利擁護・虐待防止部会の開催((6/12、8/26、11/19、障害者虐待事例検証会10/16)) (再掲) (2) 静岡市障害者虐待防止講演会「障害者福祉施設における虐待の防止と対応」 日程：3月15日(月) 14:00～16:00 会場：グランシップ 10階 会議室1001 内容：①行政説明「静岡市の障がい者虐待防止対策等につ</p>

		<p>いて」(市障害福祉企画課)</p> <p>②講演「障害者虐待防止法と施設・事業所での虐待防止について」</p> <p>講師 曾根直樹 氏</p> <p>(日本社会事業大学専門職大学院准教授)</p> <p>参加者：69名(一部Zoom参加)</p>
5. 地域生活支援ネットワーク相談支援コーディネーター配置業務	<p>障害児者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築する、地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の機能のうち、相談支援を調整するコーディネーターを配置する。</p>	<p>1. 地域生活支援ネットワーク相談支援コーディネーターの配置</p> <p>(1) 配置時間：平日(月～金) 10時00分～16時00分</p> <p>(2) 人 員：コーディネーター2名(うち、1名は兼務)</p> <p>(3) 配置場所：地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」(清水区楠150番地 百花園宮前ロッヂ)</p> <p>※コロナ禍により宮前ロッヂでの活動が困難になったため、静岡市番町市民活動センターの事務室(協会が借用中)にて業務を行う。</p> <p>(4) その他：地域生活支援拠点相談調整コーディネーターの打合せ(10/12、12/23、1/5)</p> <p>2. 事業の概要</p> <p>(1) 「相談」機能調整コーディネート業務</p> <p>①静岡市障害者自立支援協議会との連携</p> <p>自立支援協議会や連絡調整会議に参加し、連携を図る。</p> <p>〔葵 区〕4/14、5/12、6/9、7/14、8/11、9/8、10/13、11/10、12/8、1/12、2/9、3/9</p> <p>〔駿河区〕4/21、5/19、6/9、7/14、8/11、9/15、10/13、11/10、12/15、1/12、2/9、3/9</p> <p>〔清水区〕4/8、5/13、6/10、7/8、8/12、9/15、10/13、11/12、12/9、1/13、2/10、3/10</p> <p>※連絡調整事務局会議を含む</p> <p>〔全市調整会議〕6/23、12/22</p> <p>〔自立支援協議会〕7/16、8/24、11/2、1/26</p> <p>②静岡市東部地域(旧由比町・蒲原町)における「高齢・障がい・児童包括型」相談支援体制の構築</p> <p>・静岡市東部地域(由比・蒲原)障がい者無料相談会</p> <p>日時：第1回 7月28日 10:30～15:30</p> <p>第2回 9月23日 10:30～15:30</p> <p>第3回 11月24日 10:30～15:30</p> <p>第4回 1月26日 10:30～15:30</p> <p>第5回 3月24日 10:30～15:30</p> <p>会場：蒲原生涯学習交流館</p> <p>・地元の社会福祉施設との意見交換・施設見学</p> <p>・医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会の参画(6/6、7/18、11/9、1/28、2/13)</p> <p>③委託相談支援事業所等で長期化する課題の調整</p> <p>・連絡調整事務局会議において、関係機関と意見交換</p> <p>・触法障がい者の支援</p> <p>(2) 「専門性」機能調整コーディネート業務</p> <p>①相談支援専門員アセスメント研修の開催</p> <p>・第1回(通算7回目)</p>

		<p>日程：7月17日（金）13：15～17：00 会場：静岡市産学交流センター 内容：1)ミニ講座 「発表事例に応じた目標指向型アプローチの視点について」 講師 増田樹郎 先生（静岡福祉大学 健康福祉学科長・教授・愛知教育大学 名誉教授、以下、肩書省略） 2)事例紹介 「不登校の障害児を持つ母子家庭の事例」 発表者 川島絵里子氏（障害者相談支援センター わだつみ 相談支援専門員） 3)グループワーク 参加者：40名（うち、リモート参加2名） •第2回（通算8回目） 日程：9月7日（月）13：15～17：00 会場：アイセル21 内容：1)ミニ講座 「発表事例に応じた目標指向型アプローチの視点について」 講師 増田樹郎 先生 2)事例紹介 地域で把握できていなかった8050世帯～緊急事態にどう対応するのか 発表者 安藤千晶氏（社会福祉士・（一社）静岡市清水医師会「在宅医療介護相談室」（総合相談）） 3)グループワーク 参加者：57名（うち、リモート参加7名） •第3回（通算9回目） 日程：11月20日（金）13：15～17：15 会場：静岡市中央福祉センター 内容：1)ミニ講座 「発表事例に応じた目標指向型アプローチの視点について」 講師 増田樹郎 先生 2)事例紹介 医療的ケアの必要な障がい者と家族支援～コロナ禍の中で必要な支援とは～ 発表者 北尾会津氏（社会福祉法人小羊学園 アグネス静岡 管理者・相談支援専門員） 3)グループワーク 参加者：41名（うち、リモート参加15名） •第4回（通算10回目） 日程：1月8日（金）13：15～17：15 会場：静岡市中央福祉センター 内容：1)ミニ講座 「発表事例に応じた目標指向型アプローチの視点について」 講師 増田樹郎 先生 2)事例紹介 罪を犯した精神障がいのある方の支援 失敗があっても、「地域で暮らしたい」を支える～入口支援の事例から 発表者 堀越英宏（当協会事務局長） 木村純子（相談支援調整コーディネーター）</p>
--	--	---

		<p>3)グループワーク 参加者：24名（うち、リモート参加8名） ・第5回（通算11回目） 日程：3月5日（金）13：15～17：15 会場：静岡市中央福祉センター 内容：1)ミニ講座 「発表事例に応じた目標指向型アプローチの視点について」 講師 増田樹郎 先生 2)事例紹介 「8050の課題 介護保険と障害福祉」～同居高齢者の施設入居により「一人暮らし」になった方の支援～ 発表者 堀越英宏（当協会事務局長）</p> <p>3)グループワーク 参加者：43名（うち、リモート参加16名） ②相談支援部会等との連携 ・相談支援部会（ワーキンググループを含む）への参加 ・自立支援協議会や連絡調整会議に出席し、意見交換 ③地域の実情・背景に則した研修 トラブルシューター（TS）ネットワーク関係会議、打合せへの参加 ④清水在宅医療・介護・福祉連絡会に出席（9/9,2/26） ⑤高齢介護事業所との情報共有・利用者との交流 ・デイサービスウィズ（葵区）を訪問</p> <p>(3)ネットワーク会議等の開催、事業者・関係者との連絡調整業務等 ①地域生活支援ネットワーク『まいむ・まいむ』ネットワーク会議の開催 ・第1回ネットワーク会議 日時：9月29日（火）13：30～16：30 会場：静岡市中央福祉センター 内容：1)地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の進捗状況について（報告） 2)次期障がい者福祉計画における「地域生活支援ネットワーク」の位置づけや目標について 参加：48名 第2回ネットワーク会議 日時：3月23日（火）13：30～16：30 会場：静岡市中央福祉センター 内容：1)地域生活支援ネットワーク「まいむ・まいむ」の進捗状況について（報告）と来年度の事業 ・共同生活援助（GH）の事業所連絡会（仮称）の開催について ・ガイドヘルパー養成研修について ・強度行動障害者支援フォローアップ研修の開催について ・まいむ・まいむ、基幹相談支援センターのアウトリーチについて ・計画相談事業所のお願いちラシの活用について</p>
--	--	--

		<p>2)災害時(コロナ含む)における障害者の支援について(相談支援事業所との連携)</p> <p>3)重層的相談支援体制の整備について 参加:44名(うちZoom17名)</p> <p>②地域生活支援部会の開催(部会長:木村純子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回地域生活支援部会 日時:7月6日(金)9:30~12:00 会場:静岡市番町市民活動センター 内容: <ul style="list-style-type: none"> ・部会長の選任と副部会長の指名 ・令和2年度の地域生活支援部会の活動計画について ・報告事項 ・日中サービス支援型指定共同生活援助事業所のヒアリング ・第2回地域生活支援部会 日時:12月9日(水)9:30~12:30 会場:静岡市番町市民活動センター 内容: <ul style="list-style-type: none"> ・「日中サービス支援型指定共同生活援助事業所」の評価等について ・令和3年度以降の「日中サービス支援型指定共同生活援助事業所」の評価体制について ・報告事項 <p>③関係機関との情報共有・会議への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉企画課と強度行動障がいフォローアップ研修及び知的障がい者ガイドヘルパー研修の受託について協議(9/18) <p>④市民団体・地域との情報共有・行事への出席</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所・関係団体の訪問・情報共有 ・自立支援協議会子ども部会への参加(6/19,12/22) ・業種別連絡協議会への参加 <ul style="list-style-type: none"> a 清水区放課後等デイサービス連絡協議会(6/26,7/17,9/18,11/13,3/12) b 駿河区・葵区放課後等デイサービス連絡協議会(5/21) c 就労支援部会、就労移行支援事業連絡会(12/9,2/16) ・関連機関団体との連携 静岡県立大学「ふじのくに」みらい共育センター(COC)「みなくる」(COC受託事業:葵区南八幡町)と連携。 ・国際女性デー協賛イベント「ホワイトリボンラン」(ジョイセフ主催)に参加(3/7) <p>⑤教育機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援学校における放課後等デイサービスの送迎状況の把握 ・児童発達支援事業所へ特別支援学校への就学について流れと手続きの周知のお願い
--	--	--